夕刊 常磐毎日
発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210
印刷兼発行人 吉田甫
編集兼発行人 吉田甫

割烹 さなだ
桜小路電四三六

病気議員狩り出し
強引に小名浜合併採決
鹿島合併村会

湯本か、小名浜かの合併問題を審議する、鹿島村会は、四日村役場階上の会議室で開らかれたが、この日は同村にとつて合併の運命を決する村議会だけに、定刻一時間前の午前九時過ぎには、病くの八代村長を始め、村民傍聴者二百余名が押しかけ、狭い役場内は出入りもならぬ程の混雑さ、一方今日の結果を案じて、小名浜町からは長瀬議長以下町議十数名が、湯本町からは小野副議長以下、町議町民ら三十余名が乗り込み、開会前から緊張した空気がみなぎつていた、村会にさき立つて、午前十時廿分から八代村長を中心に十四議員が秘密会で懇談会を開催、階下では傍聴券の制限整理などでゴタゴタしながら秘密会が進められているうちに約廿分程遅れて病欠と思つていた矢吹緑宝の議員が要とせがれに付添われて、退院したばかりの病くを痛々しそうにして出席、同十時五十分ころ秘密懇談会を終つて引続き村会に移り、合併議案を採決にかけて強引に八対六で小名浜合併案を採決、議場騒然たる裡に同十一時二十分問題の村会を終了した

（写真は傍聴者満員の村会々場）

湯本合併議員ら
早速行政訴訟を提起か

十四名中六名の反対議員があつた不当だ」とつめよられながらも強引に採決したので

湯本合併村議らは直ちに協議会を開らいて、善後策を協議したが、行政訴訟を提起するか、分村合併でゆくかの方針を決め一両日中に手続きをとるもようである

湯本町會は
議案に抗議申入

議案提案の形式が「鹿島村と小名浜町との合併に関する件」と当初より議案に記入して提案したことに関し、昨年三月十五日に正式文書を以て合併申入れを行つた湯本町としては不当議案であるとして一両日中に町会を招集して協議し鹿島村に対し正式公文書を以て抗議をすることになるもようで

鹿島合併問題はここに全く収拾すべからざる事態に追込まれてしまつた

小名浜町は
四日緊急町会

小名浜町では、四日午後一時から緊急町会を招集して合併問題を審議し町会としての受入れ態勢を決めることとなつた

八代村長談

「前の協議会で九対五で小名浜に決めたと報告をきいているが、これは私の主催してやつた協議会ではない、もう少し時をかしてくれるなら円満解決の方法もあつたが、かういう姿で村会の決定をみたことは遺憾と思う、」

と語り、採決直後、村会の閉会宣言も待たずに退場した

矢吹湯本町長談

「八対六で小名浜と決つたときいたが、私はこれによつて負けたとも思つていないし、よしんば分村合併まで行つても勝つたとも思わない、自治確立の意義からして、村民の総意によつて決すべきもので、十四、五名の村会議員だけで決定されるべきものでもない、村民の総意を尊重して具申書を取りまとめ、地方事務所を経て県に申請し、県の認可を決定するもので、問題はこれからであるから、無用な争いは避けて円満解決に努力したい」

小野湯本副議長談

「こんな争いにまで持込ませた監督官庁である地方事務所も反省すべきだし湯本からの申入れを黙殺した議案を提案するなど横暴の限りだ、早速抗議を申入れる村民の半分に近い数が湯本と合併を望んでいるのに二票や二票の差で村会が採決を計るとは、自治法の精神に反する、われわれは合併をあきらめないし今後も方針通り進める、分村合併も亦やむを得ないかも知れない」

湿田單作地區に
神谷、飯野、平窪指定

平窪、旧飯野（旧平町市街地南部の地域含む）旧神谷村が八月六日付で湿田単作地区として指定された。湿田単作地域農業改良推進法第二条第三項による各種農業改良事業の補助対象地域と認められたわけで寒冷地域からも除外されていた当地方懸案の要望事項でもあり喜ばれている

湯本方部の
少年対抗野球

湯本地区警、湯本町防犯協会主催の第一回湯本、磐崎地区少年対抗野球大会は六日午前八時から湯本一、二小、一中の三球場に十六チームが参加して繰り展げられる、

組合せの通り▽宝海―上町上中町▽長倉―関船栄田▽吹矢―長倉▽桜木町向田―東宵薬▽天王崎御宰町―辰ノ口傾城▽水野谷―磐崎▽上下浅貝―表町東町▽磯原小野田―八仙台の山、また学校単位で排球大会が行われるが組合せは、湯本一中B―磐崎中B、磐崎中A―湯本二中A、湯本二中B、湯本一中A（注共に一回戦は不戦勝となつている

湯本教育委員会

湯本町教委では四日午後一時から同町公民館会議室で開き二十八年追加更生予算五十万円について協議した、

予算内訳は▽八十周年記念事業費（記念植樹、教育講演会、学校図書館の充実、小校の部写生会、中校の部弁論大会）▽社会科教育研究会開催▽児童調査による教育設計▽湯本二中の給仕採用▽県教委連合大会出席の件▽湯商校の使用下水改良など

四倉方部議長会

四倉方部（四倉、大野、大浦、草野）議長会は四日午前十時から大浦村役場で開催、常磐地区開発道路そう合開発計画、ガソリン

募集
写真技術見習
〃〃機械修理技術見習
人員二名住込に限る（男）
希望者は御来店下さい
美鈴カメラ店
営業所 平田町四七番地

料亭 の井 平市三町目九町

社会主任研究会

石城町村社会主任者研究会は五日午後十時から石城地方事務所で開く

盗まれたコートを返してほしいと三日平市署刑事課に座込みを行つた、たくましき女性があり、猛者ぞろいの刑事連を手古ずらせた話……大阪市出身某女（三五）は先月の下旬ころ平市内でコート一枚を盗まれ平市署に届出たが犯人が挙がらずそのままになつていたが、三日午前八時半ころ平市署に、盗まれたコートを押して返してくれなければ此処を動かない、と座込んだものでよく調べてみると大阪でパンパンを業としていたアジヤベー（左巻）さんということで、刑事連ますます安心

カメラと材料は…
飯田カメラ店
平市一丁目☎二三六五

カメラ勿来富岡間通行に関する促進運動について協議した
四倉町議会
農協役員を決定

四倉町では三日午前九時から町議会を開催、農業協同組合の再建問題その他について審議、組合長並に理事、監事を次の通り決定した

組合長、鈴木賢二、理事、本多辰吉、長谷川長太郎、菅波康太郎、佐藤信司、長谷川嘉平、新妻常吉、植田万次郎、監事、阿部勝吉、鈴木幸次郎、古市寿平

5(土)より 夜具地と裏反を特価提供申し上げます
夜間営業 7時迄
☆実需期を控えて、夜具地綿共値上りを伝えられて居ります。大黒屋本店には値上り前の品を安く心から皆様へ御奉仕致します。何卒御期待下さいまして御来店下さいませ……☆
純綿並夜具地 〃寄黒印綿夜具地 大正絹銘仙夜具地
大巾サラス夜具地 大巾モス〃 大小黒印正花〃
夏の呉服一掃大売出し中
ゆかた、単帯、銘仙大特売中
皆様の利益を護る店
大黒屋本店

歌謡界のNo.1!! テイチクの至宝
映画界のホープ 帝都日劇 国際のステージより
田端義夫来る

9月8日
◆ヒル……1時◆
◆ヨル……6時◆
★前売……〒150★
★学生……〒100★
平市公會堂
◎小沢秀夫の指揮する……楽団レッド、スターズ
◎曽根方オナジミの……腹話術ナルミ久
◎司会の名コンビ……丸の内助権十三
◎歌と笑いの……歌謡漫談ボンボントリオ
音楽の店 平駅前通り 高野文化堂
9月7日
◆ビル……1時◆
◆ヨル……6時◆
◆当日……〒150◆
◆学生……〒100◆
小名濱劇場
主催 風戸興行社
責任
提供

東王線藤ケ谷駅
石城学生寮建設決る

「石城学生寮」は東京都杉並区方南町地内に建設することになり、二日大泉寮管長ら一行が現地視察の結果、取あえず三十四、五名収容出来る既設建物を早急に売収することになり。来る十日建設期成同盟会を開催して具体案を検討、新学期発足に備えることになつた

学生寮建設敷地は京王線藤ケ谷駅から徒歩で約七分位のところで環境的にも絶好の地である、既設の建物はアパート式に建設されているもので直ちに三十四、五名は収容出来る、また更に二棟ほど増築出来る敷地が隣接して同一人の所有地となつているので最も適地であると視察団の一行は語り、二百万円程で既設建物を早急に売収更に計百名位収容出来る建物の増築が予定されている

全額室に商工委員会を設き、二十八年度商工予算（三十二万円）、観光宣伝予算（二十六万円）について協議した結果原案通り可決した

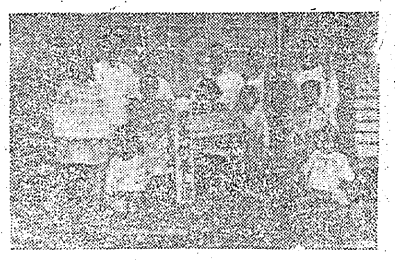
内容は商工業者の協同組合並びに商店街の育成指導、八仙地に新国道街路燈設置（二万一千円）、駅前大通りに飾燈塔二十五塔（三十万円）の建設、商店美化奨励のための講演会、商工業者経営者指導のための講演会、名産品の創意工夫奨励費、小中企業者に融資あつせん、町資金預託制実施、公用地帯の施設整備、名所古せきの保存維持などとなつており、積極的な事業促進に乗り出すことになつた

神経衰弱で
列車に飛込自殺

三日午前十時四十五分ころ内郷町白水字大神田地内の常磐線湯本―綴間下り二八一貨物列車に飛込み自殺した

内郷町白水字大神田二〇常磐炭砿線坑支柱夫斎藤勝一（三四）は神経衰弱に罹り四、五日前から極度に悪化、坑内作業中でも同僚から「奥さんに用事あるから帰ねる」といわれると早引きして家を戸締め寝を監禁したり、妻が水道場で他の男と話合つたりするとやにわになぐるけるのヒステリツクを起して暴行を振つたとの噂があり自殺当日も無言のまゝ十時三十分ころ家を飛び出し、飛び込み地点から約二十八米はなれたところに下駄がきちんと並べられている点からみて、神経衰弱がこうじて覚悟の自殺らしい

昆虫供養塔建立
小名二小校のよい子らが



小名浜第二小学校高学年児童は夏休中に集めた昆虫類のうち、標本とした残りの霊を慰めたいと、種々協議した結果、昆虫供養の標を建てゝ供養したこれは先生、PTA、児童ら三者が一体となつて作つたもので、これにより、殺なりとも情操教育の一端ともなれば幸いですと学校では語つていた

（写真は昆虫供養塔）

湯本商工委員会

湯本町では二日午前十時から役場

原因は不可抗力
柿ノ沢発電所落盤事故

落盤のため四名の死亡等を出した田人村柿ノ沢発電工事場の実状調査に赴いた福島労働基準局盛岡安全衛生課長ら一行は四日早朝帰局したが落盤は基定のとおり支柱を立てている点をみて不可抗力の事故と発表した

この点から新な問題がない限り職性者である滝口忠常さん（五二）一家には遺族補償金四十七万三千八、相当百十円（葬祭費二八、四九）加四、四九）加四、四九）加四十七万九千円（一八、七四〇円）遺族一時金として三十六万九千百十円（二三、一四八円）鈴木鉱夫さん（四五）には四十六万百円（二七、六〇六円）計百八十八万八千九百六三円が早急に支払われる

西條八十氏来湯
湯本小唄を作詞のため

小名浜県立湯本商工高校の校歌作詞のため来湯した西條八十氏（七四）は十一日午後二時二十分常磐線湯本駅着、出迎えた湯本町観光協会では六日午後詩聖の旦座西条八十氏を招いて湯本町の実体調査を行つた後、昨年度募集した小唄及他町村の小唄を参考にして情緒豊かな湯の街、湯本小唄を作成することになつた

食管法違反で
担ぎ屋さん逮捕

茨城県土浦市荒川沖町七ノ一五六無職宮本てる（三二）同無職成島カツ（四六）の両名は、三日午後十一時ころ仙台地方から買つてきた玄米一俵三十二キロ（時価五千八百円相当）をズツク製ボストンバツク二個ナイロン製ボストンバツク二個風呂敷包み四個に入れ、綴駅待合室で上り列車を待つているところを警ら中の内郷地区警察署に食管法違反現行犯で逮捕された

赤井二中も盗難

三日午前六時半ころ赤井村西小川赤井村立第二中学校の小使いさんが朝校舎を巡回して職員室の前に来たところ職員室の南京錠がなに者かにこじ開けられ職員室にあつた現金八百円と紺サージズボン時価二千円相当を盗まれているのを発見平地区警に届出た

平地区警では鹿島、内郷に入つた同一犯人とみて捜査を開始した

電線泥検挙

平地区警では泥棒三阪、永戸兵輪地内にある東北電力、平電話管内の電線泥を捜査中だつたが一日午後八時ころ三阪村中三阪無職徳原栄奥こと栄栄奥三四を逮捕、取調べている、また共犯とみられる朝鮮人住居不定某を指名手配した、同らは本年四月初旬ころから三阪泥棒ほか管内一帯の電線、電話線など二十数回にわたり銅線約四十貫、時価六万五千円相当を盗んで附近の古物商に売つた疑いによるもの

ヤミ米五俵押収

平鉄道公安室では三日午後一時三十四分常磐線平駅着上り上野行二二八列車を臨検、無主物精米五俵を押収した

洋服は
自動サイレンで
人指ゆび切断

磐田町天神町溝谷好太郎ちゃん（六）は二日午前十一時半頃自宅前に停車中の消防自動車の手動サイレンで右人さし指第一関接から切断され、同町前田医院の手当を受けた

磐城のしし舞

磐城の獅子舞については私達磐城民俗研究会に於て調査研究課題として昭和十三年十七日内郷町高坂住吉神社に於て、同十月六日泉村滝尻諏訪神社に於て特に舞うて残き後者には故文学博士喜田貞吉氏を御招きして御指導を仰いた、それより会員竹島国蔵君が主として郡内各村に伝承する獅子舞を調査して詳細な資料を提供された、此等の資料に基き会員山内頼一郎氏は磐城獅子舞資料として民族学研究（昭和十四年）に発表せられた

磐城獅子舞の由来
（上）

節季の「鶏肋雑考」にのせたもので獅子舞は西城の亀慈国の舞楽が支那の文化と共に吾が国に渡来したのであるという断呼たる輸入説である

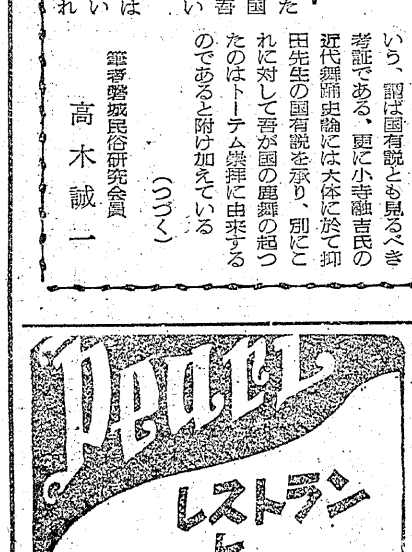
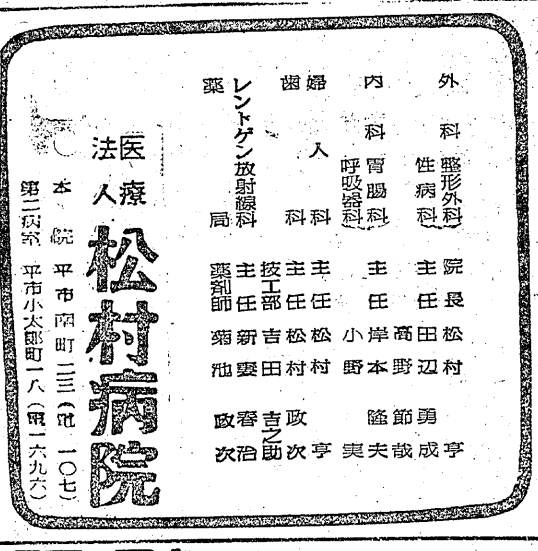
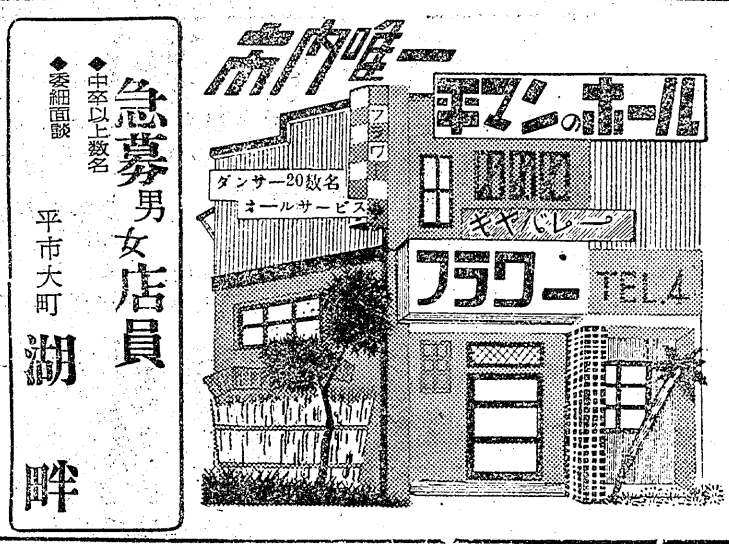
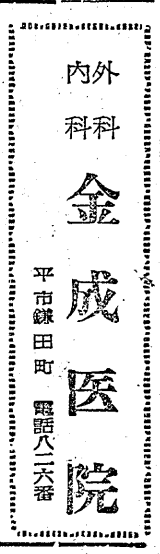
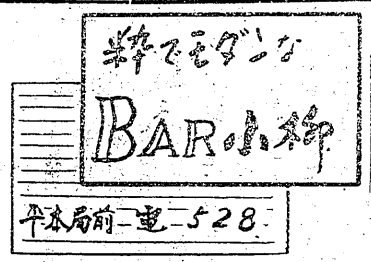
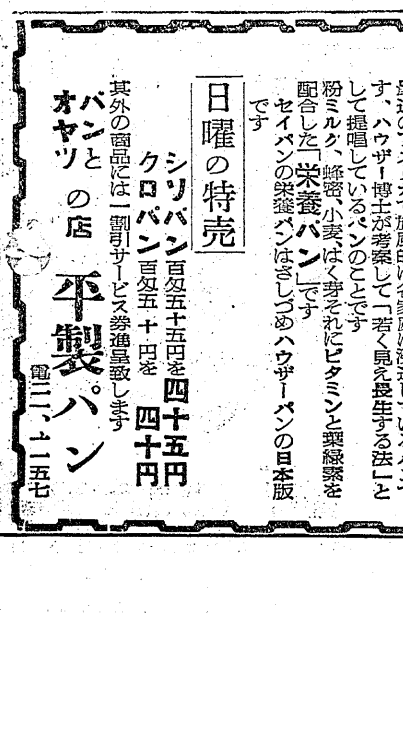
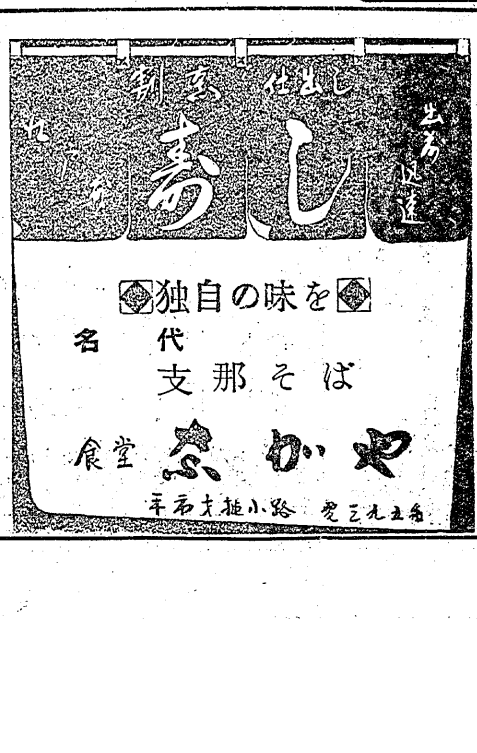
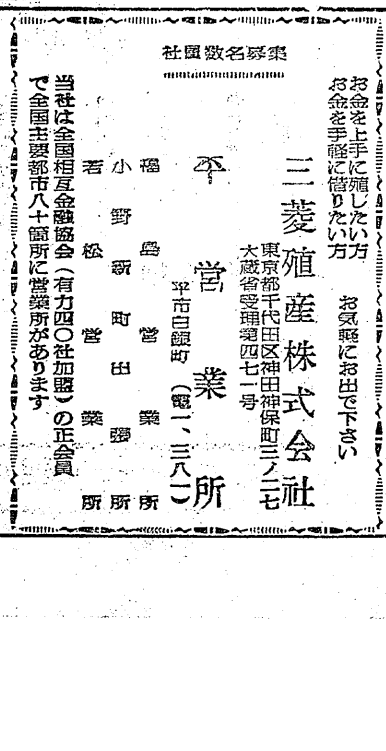
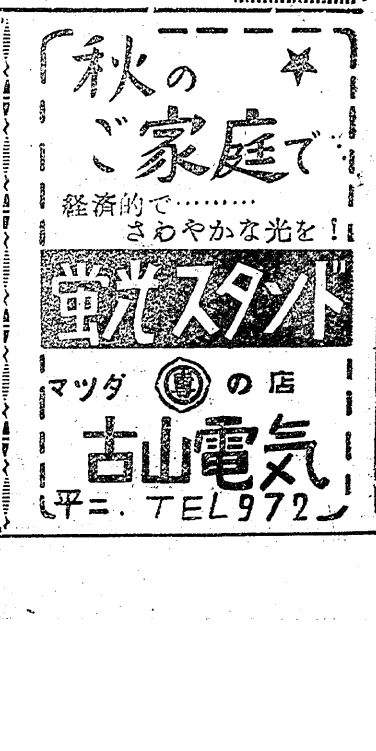
民俗学者柳田国男先生の所論は「吾が国には古く鹿舞（ししまい）というものがあつて然もそれも頗る困難を極めたが当時郡内に三十五の所在を確めた

これらの一々に就えて比較検討を試みることは容易でないが、大同小異おのおのその土地の慣習にもとり舞きの粉装、祭り場の設、祭具、笛の調、動作な「ササラ」を用いるに依つて云々（つづく）

筆者磐城民俗研究会員

高木誠一

村に伝わる古い若者組の祭礼付物帳などを見ると鹿頭（ししがしら）鹿舞（ししまい）などという書いてある、舞踊の動作を見ても鹿の踊りである、獅子舞を単なる「ササラ」といつて居ると民俗学的の稽査としては寧ろ村信仰が広く行われてたところへ、後から支那から渡来した獅子舞が国音の相通から附会したものである、その証拠には音国の各地において古風を伝えているもの角（つの）のある獅子頭があり、これに加うるに鹿を歌つたものをし子舞に用いていたという、謂は国有説とも見るべき考証である、更に小寺融吉氏の近代舞踊史論には大体に於て抑田先生の国有説を承り、別にこれに対して吾が国の鹿舞の起つたのはトーテム崇拝に由来するのであると附け加えている

神社事として伝承され、私も青年時代三回ほど舞つた経験があるからことに獅子舞につ多くは夏祭りで豊作所願、疫病退散の御祈祷である

私の村にも古来から鎮守白山いては関心が深い、よその村の舞も多く見ている、信仰と伝統を保持して容易に祭礼以外に行い得ない舞であるから調査